

第9期 日韓理工系学部予備教育コース

村上京子

第9期日韓理工系学部予備教育コースは、平成19年10月10日から20年3月2日までの6か月（実質18週）間、6名の学生を対象に開講された。このコースは、工学部入学後、勉学や生活に支障のないように、日本語運用および専門基礎能力を養成するために行われるもので、日本語に関しては、日常生活に必要な会話練習のほか、科学読み物を読む、レポートを書く、講義形式のまとまりのある話を聴く等の練習が行われる。また、全学教養科目「留学生と日本—異文化をとおしての日本理解—」や「日本事情」の授業を通じての異文化理解教育も含まれる。専門基礎教育に関しては、数学・物理・化学の各科目について、工学部教員を中心に指導された。

日程（18週）

10月6日(月) 日本語診断試験
 10月7日(火) 日本語オリエンテーション
 10月10日(金) 開講式
 10月14日(火) 授業開始
 10月29日(水) バス旅行
 12月22日(月)～1月9日(金) 冬休み期間
 2月2日(月) 工学部入試のため休講
 2月26日(木) レポート発表会
 2月27日(金) 修了試験
 3月2日(月) 閉講式

表1. 科目別時間および担当者、内容

科目	コマ数	時間	担当	内容
日本語	13	420	留学生センター教員・謝金講師4名	会話練習・聴解・文法・作文読解
専門科目	3	108	工学部教員・謝金講師3名	物理・数学・化学
日本事情	1	36	留学生センター教員・謝金講師1名	ビデオ・新聞等
全学教養科目	1	30	留学生センター教員	日本人学生との合同クラス

教室：留学生センター303

時間割

	1限 8:45-10:15	2限 10:30-12:00	3限 13:00-14:30	4限 14:45-16:15	備考
月	作文 村上	教養科目 (留学生と日本)	専門科目	聴解 稲田	
火	会話・練習 古川	聴解 古川	専門科目		
水	会話・練習 国澤	工学概論 NUPACE	聴解 稲田	応用会話 稲田	
木	文法 李	会話・練習 古川	専門科目	読解 国澤	
金	漢字・語彙 全	日本事情 全	OL作文 留セ(村上)	OL聴解 留セ石崎研	

基本テキスト

会話：「現代日本語コース中級Ⅰ，Ⅱ」名古屋大学出版会

聴解：「現代日本語コース中級Ⅰ，Ⅱ聴解オンライン教材」名古屋大学 JEMS

読解：「大学・大学院 留学生の日本語 読解編」アルク

作文：「留学生のための理論的な文章の書き方」スリーエーネットワーク

漢字：「KANJI IN CONTEXT 中・上級学習者のための漢字と語彙」The Japan Times

受講生渡日に先立ち、工学部・留学生センター・事務の3者から成る受入れWGを立ち上げ協議を行った。コース開始から終了までその方針に沿って順調に

進んだ。

例年通り各自次のようなテーマを選んでレポートを作成し、2月26日には工学部教員や専門科目担当講師も招いて発表会を実施した。発表テーマは、騒音、核融合―核融合の原理とトカマクの仕組み―、半導体と人工光、ノーベル物理学賞で注目された「CP対象性の破れ」、電気自動車の現在と未来、インターネットの仕組みであった。工学部教員からも質問・意見が出され、学習者にとって学部入学後の勉学への意欲・自信につながる経験となった。

授業開始直後から遅刻・欠席が目立つ学生が1名いたが、成績等には大きな遅れがなく、評価基準を満たし、全員無事修了した。工学部進学後も生活指導を含め、引き続き見守っていきたい。